

津市消防出初式

1月10日(日)、サンヒルズ安濃にて「津市消防出初式」が行われました。

例年、消防出初式は、津市の消防機関の人員及び装備を検閲して、消防職員及び消防団員の士気高揚と、市民に対する火災予防の普及啓発等を図るとともに、消防に対する認識と信頼を深めることを目的とし、第1部（分列行進）、第2部（式典）及び第3部（木遣り、消防訓練、一斉放水）の3部構成で実施していますが、今年は新型コロナウイルス感染予防の観点から規模を縮小し式典のみで消防関係者の表彰を行いました。

一志方面団は約10名の団員が参加しました。



一志町火災・救急概況（令和2年中）

令和2年中に津市で発生した火災は103件で、このうち一志町管内では、2件（表1参照、全体の約1.9%）発生しています。

また、令和2年中に津市の救急隊が出動した件数は14,242件で、このうち一志町管内では、714件（表2参照、全体の約5%）でしたが、一志分署救急隊が出動した件数は、管轄外も含めると903件でした。

建物	車両	林野	その他	計
2	0	0	0	2

【表1】 令和2年火災種別発生件数

急病	一般負傷	交通事故	その他	計
500	142	36	36	714

【表2】 令和2年救急種別発生件数

4月からコミュニティバスの路線・ダイヤが変わります

令和3年4月1日から、津市コミュニティバスは新たな路線・ダイヤに変更しますので、ご利用の際はご注意ください。

変更後の路線図・時刻表につきましては、3月16日号「広報つ」への折り込みチラシや、津市ホームページにてお知らせします。

問い合わせ 都市計画部交通政策課 ☎229-3289
一志総合支所地域振興課 ☎293-3000

歴史講演会を開催

1月9日(土)、一志農村環境改善センター大ホールにおいて、一志町歴史語り部の会の主催で、歴史講演会『「こま犬」あれこれ～三重県を中心に～』が開催されました。

講師には、ふるさと新聞会長で津市観光ボランティアガイドネットワーク協議会会長の西田久光氏を招き、スライド映像を見ながら、「こま犬」の基礎知識に始まり、三重県内の神社にある様々なこま犬が紹介され、60人程の参加者は、興味深げに熱心に聞き入っていました。



地域のネットワークづくりを! ～一志人権フェスティバル～

12月5日(土)、一志農村環境改善センターにおいて、一志人権フェスティバルが開催されました。

ホールでは、人権標語、ポスター、作文の中から選ばれた作品を紹介し、受賞者の表彰式が行われ、また、あらかじめ録画した映像を用いて、小・中学生の皆さんからの発表がありました。

講演会では『いつも子どもたちの命をど真ん中に』と題して、NPO法人地域包括子ども支援センター「こどもの里」理事長の荘保共子さんが、大阪市西成区の子どもたちに40年にわたって行ってきた取り組みについてお話しいただきました。

ロビー等では、人権標語・ポスターのほか各団体の人権活動の展示も行われました。



令和3年度 児童館年間行事のご案内

一志児童館 (一志町高野160番地699) ☎293-0936

川合児童館 (一志町八太1008番地1) ☎293-3711

一志地域の児童館は、0歳から18歳未満までの児童のための福祉施設です。子どもたちに遊び場と遊びを提供し、遊びを通して児童が心身ともに健やかに成長するお手伝いをするところです。

児童館名 月	一志児童館の取り組み	川合児童館の取り組み
4	ビーズを使った小物作り	こいのぼり作り
5	こいのぼり作り	卓球、バドミントン、カードゲームなど、お話し会
6	七夕飾り作り	七夕飾り作り
7	いきいきサロンとの交流：夏の季節の小物作り	うちわ作り、お話し会
8	ボランティアグループ「福寿草」との交流：こけ玉作り	暑中見舞い・残暑見舞いを作る
9	リリアンを使ってミサンガを作る	卓球、バドミントン、カードゲームなど、お話し会
10	卓球大会・大なわとび大会	ハロウィン飾り作り
11	フェルトを使って動物を作る	川合フェスタ、お話し会
12	クリスマス飾り作り	クリスマス飾り作り
1	折り紙で干支の絵馬などを作る	干支の絵馬・節分の小物作り、お話し会
2	いきいきサロンとの交流：節分の小物を作る	ひな人形作り
3	ひな人形作り	毛糸とフェルトを使ったマスコット作り

※ 上記の取り組み以外にも、卓球、一輪車、バドミントン(川合児童館のみ)などの運動やブロック、ゲーム等の遊びができます。

※ 開館時間 10:00~12:00、13:00~17:00まで。(日・祝日、年末年始は休館です)

※ 詳しくは各児童館へお問い合わせください。



空き家バンクにご登録ください！

津市では、空き家の賃貸・売却を希望する所有者からいただいた物件情報を登録し、その情報を賃借・購入を希望する人へ提供する「空き家情報バンク」を運用しています。

市内に空き家を持つ人で賃貸・売却を希望される場合は、ぜひご登録ください。

また、すでに登録いただいた空き家を公開しておりますので、賃借・購入を希望する人もぜひご活用ください。

問い合わせ：都市計画部 都市政策課 ☎229-3290

詳しい内容については、津市ホームページ
「空き家情報バンク」をご覧ください。



シリーズ 地域の名所旧跡・・・その⑬



(波氏神社の全景)



(木造蔵王権現像2体)

波氏（はて）神社（波瀬地区）

昔、伝説の修験者役小角（えんのおづぬ）が矢頭山を開き、ここを修験の場と決め、蔵王権現を勧請して祀りました。これを祀る神社は波瀬に三社あり、村の中央の字宮山にある小矢頭（こやす）神社（本宮）、矢頭山麓の字須氏（すて）に祀る矢頭神社（中宮）、さらに矢頭山頂にある奥宮高岳神社の三社を矢頭権現と呼んでいました。

矢頭神社（中宮）の創建は明らかでないが、801年（延暦20年）桓武天皇の御代に伝教大師（最澄）によって社殿が修復されたといわれ、927年（延長5年）に定められた延喜式神名帳にもあげられ式内社として社格も高く由緒ある社です。1868年（明治元年）神仏分離令が発せられ、1873年（明治6年）矢頭神社（中宮）は波氏神社と確定改称され、同時に神宮寺が廃寺となりました。続いて一村一社令の決まりにより、1909年（明治42年）矢頭山麓の矢頭神社（中宮・元の波氏神社）はその位置が村内の端にあり、諸々の行事や交通にも不便があるため、ほぼ村の中央に位置する小矢頭神社へ奥宮高岳神社、村内32社とともに合祀され、社殿などが新築され波氏神社と単称して、社格もそのまま維持されました。

波氏神社には、主祭神の火雷神（ほのいかずちのかみ）の他に合祀した各社の祭神10神25柱が祀られています。社宝にはもと神宮寺にあった木像蔵王権現像2体（江戸時代前期作140cm・江戸時代後期作92cm）のほか鰐口・古文書・殺生禁断の証文などがあります。

境内の南面に積まれている石垣は、自然の川石を使った野面（のすら）積みで、石段を登った左側の石垣寄りにその記念と思われる1682年（天和2年）壬戌（みずのえいぬ）年建立の碑が建てられています。

（引用主要文献「一志町史」）